

「一生に一度」の検査受けませんか？

肝臓がん(肝がん)は、感染ルートが限られていることから、予防できるがんとされています。肝がん発生の仕組みと検査方法をお知らせします。

問合先 健康増進課

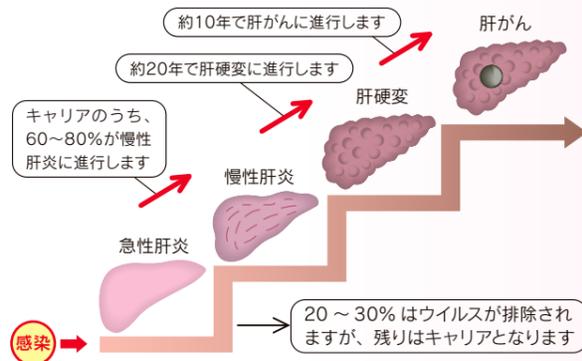
肝炎とは

肝炎とは、肝臓に炎症が起こった状態をいいます。肝臓がウイルスなどに感染し、それを排除しようとする際に肝臓の細胞と一緒に破壊することで起こります。原因としてはB型肝炎ウイルス、C型肝炎ウイルスによる感染が多くを占めています。

肝炎を発症しても、多くの人は自然に肝臓の炎症が治まり、ウイルス持続感染者(キャリア)と呼ばれる状態になります。そのまま症状が進行しないこともありますが、一部の人は慢性肝炎に移行し、肝硬変や肝がんへ進行することがあります。

肝臓は症状の出にくい臓器です。肝炎になっても自覚症状がほとんどないため、肝炎になったことに気付かず、肝がんに行ってしまう人もいます。現在日本では、毎年3万人以上の人が肝がんになっていきます。肝がんの原因の約80%は肝炎ウイルスの感染によるものですが、自分が肝炎ウイルスに感染していることを知らずに過して

C型肝炎をそのままにすると...



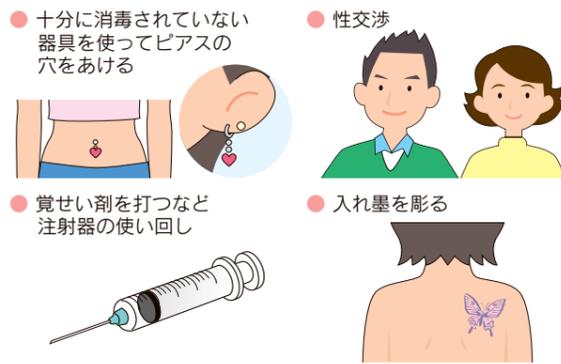
に感染していることを知らずに過してしまっている人が100万人以上もいるといわれています。検査以外で病気に気付くことは難しく、病気が進むと治療も難しくなります。早めに検査を受け、感染していないか確認しましょう。

どのように感染するのか

肝炎ウイルスは感染者の血液や体液を介して感染します。かつては出生時に母から子へ感染したもののや、輸血や注射針の使い回しにより感染していました。しかし母子感染予防対策や献血時の検査などの感染予防対策が確立したことにより、出産や医療行為での感染はほとんど防げるようになっていきました。

近年はこれらの原因に代わって、性交渉や十分に消毒されていない器具を使ってピアスの穴をあけるなどによる若年層の感染が見られます。

現在も考えられる感染原因



検査を受けたほうがいい？

次の項目に当てはまれば、B型、C型肝炎の検査を受けたことがない人はウイルス感染のリスクが高いといえます。検査を受けることをおすすめします。

- 昭和61年(母子感染予防策の実施)より前に生まれた
- 長期にわたって血液透析を受けたことがある
- 輸血や大きな手術を受けたことがある
- 家族に肝炎ウイルスの保有者がいる
- 入れ墨(タトゥー)を入れた
- 医療機関以外でピアスやボディピアスの穴をあけたことがある
- 過去に健康診断などで肝機能異常を指摘されたが、肝炎ウイルス検査を受けていない
- 不特定多数の相手と性的関係を持った経験がある

項目に当てはまらなくても、40歳になったら一度は肝炎ウイルス検査を受けましょう。

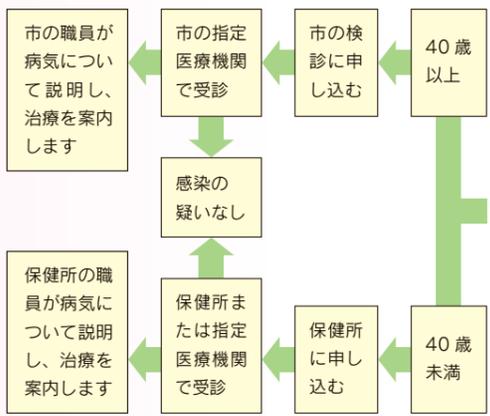
早めの診断・治療が重要です

C型肝炎の治療は、以前は副作用が強く、高齢者や女性、肝硬変が進んでいる人など条件により効かない人も多くいました。近年は直接ウイルスを攻撃する薬を飲むだけの治療で8~9割の人がウイルスを駆除できるようになり、副作用もほとんどありません。B型肝炎については副作用の少ない薬が登場しており、ウイルスの増殖を抑えることで肝機能を正常化することが可能になっています。

B型肝炎、C型肝炎は、肝硬変や肝がんなど重大な病気に進展しやすいため、早めの診断や治療が重要です。血液検査で感染の有無が調べられますので、肝炎ウイルス検診を受診しましょう。また感染していることがわかったら、医師の指示に従い定期検診を受け、重症化の予防に努めましょう。

検査の方法

肝炎ウイルスの感染の有無は、血液検査で確認できます。ウイルスに感染していることが分かった場合は、専門の医療機関を受診してさらに詳しく調べます。検査でウイルス感染の可能性が高いと判断された場合、国や県による検査費用、治療費の助成が受けられます。



検査を受けるメリット

○1回受けるだけでOK

現在は日常生活で肝炎ウイルスに感染する心配はありません。検査を1回受けて体内に肝炎ウイルスが無いことが分かれば、以後は検査を受ける必要

はありません。

○早めの治療で進行を抑える

感染していることが分かった場合、病状や体調に合わせた治療を行います。ウイルスの増殖を抑えたり、肝硬変、肝がんへの進行を防止することができます。

○まとめて受けてもOK

可児市の検診の場合、希望者は肝炎の検査に合わせて特定健診、前立腺がん検診を受けることができます。何回も検診を受ける手間がなくなり便利です。

まとめ

40歳以上の人は、市が毎年案内する検(健)診で検査を受けることができます。個人負担は1000円ですが、特定の年齢(40・45・50・55・60歳)の人は無料で受けることができます。案内が手元にならない人はお問い合わせください。

また、40歳未満の人は保健所や県が指定する医療機関で検査を受けることができます。詳しくは可児保健所(☎0563-3111)にお問い合わせください。

肝がんはその約80%が肝炎ウイルスによるもので、原因がはっきりしていることから「予防できるがん」といわれています。まずは検査を受けて、ウイルスに感染しているかどうかを知っておきましょう。



独立行政法人地域医療機能推進機構
可児とうのう病院
清水達治 内科診療部長